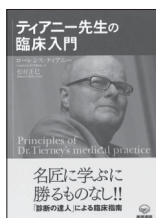


Recommended Books

ティアニー先生の臨床入門

著：ローレンス・ティアニー/松村 正巳
A5判・164ページ・2010
定価3,150円(本体3,000円+税5%)
ISBN：978-4-260-01177-8



「診断の達人」「鑑別診断の神様」と賞賛される米国を代表する内科医、ローレンス・ティアニー氏が、臨床医学の学び方と臨床修練の基本を綴った。医師はど

う成長していくべきか、すぐれた臨床教育者として知られるティアニー氏ならではの臨床道が語られている。本書で初めて綴られたティアニー氏による「症例提示のスキル」も圧巻。医学生・研修医必読のシリーズ第2弾。

臨床推論ダイアローグ

編：杉本 元信
協力：瓜田 純久/中西 員茂/島田 長人/徳田 安春
A5変判・456ページ・2010
定価4,410円(本体4,200円+税5%)
ISBN：978-4-260-01057-3

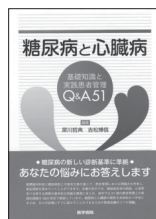


指導医とレジデントの対話形式で診断の思考プロセスをトレーニング。「よくある疾患だが意外な症状」や「よくある症状だが意外な疾患」など、研修医にとって示唆に富む

40症例を厳選。これらを診断の難易度別に5段階に分類し、初学者でも無理なくステップアップできる構成とした。各項目は「Prologue(症例提示)→Dialogue(臨床推論)→Epilogue(確定診断)」という一連の流れで小気味よく展開。

糖尿病と心臓病 基礎知識と実践患者管理 Q & A51

編：岸川 哲典/吉松 博信
A5判・312ページ・2010
定価4,725円(本体4,500円+税5%)
ISBN：978-4-260-01164-8

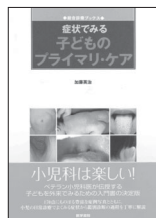


本書は、循環器内科医と糖尿病医との意見交換を通じて、患者管理における問題点を共有化し、相互理解を深めていくことをめざしている。二部構成の目次

は、前半で糖尿病自体の病態、心血管系で合併する病態の基本的な知識を具体的にまとめ、後半では実践的な患者管理上の問題をQ & A形式で解説。糖尿病と心臓病の関係が具体的かつ平易にまとめられ、日々の診療ですぐに活かせる工夫や患者指導のコツが満載。

《総合診療ボックス》 症状でみる子どものプライマリ・ケア

著：加藤 英治
A5判・360ページ・2010
定価4,200円(本体4,000円+5%)
ISBN：978-4-260-01128-0

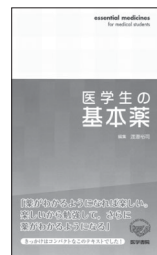


初期研修医・若手小児科医・家庭医など子どもにかかわるすべての医師にむけ、臨床で活躍するベテラン小児科医が子どもの診断・治療のポイントを伝授。

豊富な症例写真(170点)と、あくまで臨床でよくみる症状に絞った解説が特徴。講義調の語り口で、コメディカル、医学生・看護学生はもちろん保護者の方にも理解しやすいよう工夫されている。

医学生の基本薬

編：渡邊 裕司
B6変判・344ページ・2010
定価3,990円(本体3,800円+税5%)
ISBN：978-4-260-00834-1

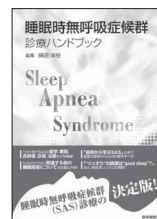


「国試出題頻度」と「臨床使用頻度」の2つの基準で、医学生にとっての基本薬(=essential medicines)を厳選。さらにこれらを「しっかりと」「あっさり」の2つに分類し、前

者の薬では冒頭に国試形式の文体で症例を提示してコンパクトに解説。「薬がわかるようになれば楽しい。楽しいから勉強して、さらに薬がわかるようになる」—そんなきっかけとなる医学生のための薬の本。

睡眠時無呼吸症候群診療ハンドブック

編：榊原 博樹
B5判・336ページ・2010
定価5,670円(本体5,400円+税5%)
ISBN：978-4-260-01025-2

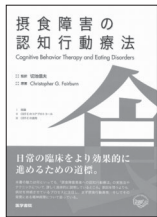


循環器疾患をはじめとするさまざまな合併症、昼間の眠気、交通事故など医学的・社会的に大きな問題を内包する睡眠時無呼吸症候群(SAS)を包括的にま

とめた待望の書が誕生！ 医師のみならず多くのヘルスケア・プロフェッショナルによる適切な対応が必要なSASの概念・疫学・病態・診療をエビデンスに基づく記述でまとめた、SAS診療の決定版！

摂食障害の認知行動療法

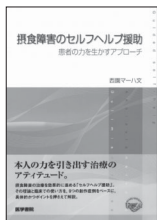
監訳：切畑 信夫
原著：Christopher G. Fairburn
A5判・392ページ・2010
定価5,775円(本体5,500円+税5%)
ISBN: 978-4-260-01056-6



「摂食障害患者への認知行動療法」の実施やテクニックについて詳しく紹介。原因を問うよりも、病状を持続させているプロセスに注目し、まず摂食行動異常、そしてその背景にある精神病理についても扱っている。摂食障害患者にかかわる医師、臨床心理士にとって、日常臨床をより効果的に進めるための参考書。

摂食障害のセルフヘルプ援助 患者の力を生かすアプローチ

著：西園マハー 文
B5判・232ページ・2010
定価3,570円(本体3,400円+税5%)
ISBN: 978-4-260-01044-3



「セルフヘルプ援助」とは、患者本人の力を引き出しながら治療していくアティテュード。摂食障害の治療を効果的に進めるその理論と臨床での使い方について、9つの創作症例をベースに、さらに資料編の「患者の力を生かす13のツール」も交えながら、具体的かつポイントを押さえて解説。有機的で立体的に張り巡らされたクロスリファレンスによって、「知識がつながる。理解が深まる。そして実践したくなる！」

感染症外来の帰還

著：岩田 健太郎/豊満 麻記子
A5判・488ページ・2010
定価4,935円(本体4,700円+税5%)
ISBN: 978-4-260-01009-2



『感染症外来の事件簿』から3年、研修医世代から好評を博した前著をもとに、日本のプライマリ・ケア外来診療を支えるベテラン臨床医向けに新たに生まれ変わった論考が本書。卒前教育で感染症を学ぶ機会の無かった世代に向け、世界的かつ日本の得る臨床感染症学の「中庸」を投げかける。小児・漢方・新型インフルエンザと、現場で求められる現代のニーズを満たす要素も盛り込まれた。

《JUN スペシャル》 医療者のための伝わるプレゼンテーション

編：齊藤 裕之/佐藤 健一
AB判・272ページ・2010
定価2,730円(本体2,600円+税5%)
ISBN: 978-4-260-01165-5



学会発表、多職種カンファレンス、患者教育、さまざまなプレゼンテーションの場で、医療者の「伝える力」が求められている。プレゼンテーションを成功させるために重要なのは、実施前のデザイン。そのデザインから、発表後の評価までを5つのステップに分けて、「伝わるプレゼンテーション」のすべてを解説。

《シリーズ ケアをひろく》 その後の不自由「嵐」のあと を生きる人たち

著：上岡 陽江/大嶋 栄子
A5判・272ページ・2010
定価2,100円(本体2,000円+税5%)
ISBN: 978-4-260-01187-7



暴力などトラウマティックな事件があった「その後」も、専門家がやって来て去って行った「その後」も、当事者たちの生は続く。しかし彼らはなぜ

「日常」そのものにつまずいてしまうのか。なぜ援助者を振り回してしまうのか。そんな「不思議な人たち」の生を、薬物依存の当事者が身を削って書き記した当事者研究の最前線！

コンコーダンス 患者の気持ちに 寄り添うためのスキル 21

著：安保 寛明/武藤 教志
B5判・224ページ・2010
定価2,730円(本体2,600円+税5%)
ISBN: 978-4-260-01078-8



「薬は大事ってわかってはいるけど…」「つい、薬を飲み忘れてしまう…」といった声があがるのは、患者のもつ価値観やライフスタイルと、提供される医療が「調和」していないからでは？

本書は、服薬の継続が重要な慢性疾患患者の服薬支援や患者の意思決定支援などに役立つ6つの【介入】と21の【スキル】からなる「コンコーダンス(調和)」の考え方と技術をわかりやすく解説した初めての1冊！